

専門学校読売自動車大学校

学校関係者評価 報告

「令和 6 年度」

令和 7 年 9 月 1 日

学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業役職員等の学校関係者を選任し、学校が実施した令和6年度における自己点検評価の結果に関する評価を行い、教育活動と学校運営の改善に向けた助言を行う。

なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策等が適切であるかどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

2. 学校関係者評価委員会の実施

令和6年度の「自己評価報告書」を、学校関係者委員に事前に送付した上で委員会を開催し、ご意見・ご提案を頂いた。また、委員の皆様には基準項目毎に4段階で評価頂き、その結果も含め報告書としてまとめた。尚、第1回委員会においては昨年度の教育活動や学校運営についての評価と今後の課題の提起を行い、次回の第2回委員会では令和6年度の間接評価と次年度への取り組み課題等の討議を行う。

＜令和7年度 第1回＞ 開催日時：令和7年 7月10日（木）17：00～18：00

場 所：610 教室

＜令和7年度 第2回＞ 開催日時：令和7年 11月19日（水）17：00～18：00

場 所：610 教室

3. 学校関係者評価委員会の出席者

① 学校関係者評価委員

- ・戸辺 祥太：地域代表 亀戸二丁目町会
- ・戸田 博樹：企業等 トヨタモビリティ東京株式会社
- ・矢田 泰久：卒業生 読売自動車大学校同窓会 会長
- ・布宮 廣一：保護者 1級整備学科4年生

（敬称略・順不同）

② 学校側参加者

- ・藤本 昌弘：理事長
- ・渡辺 宜男：校長
- ・中村 宏之：法人本部長
- ・新谷 達夫：事務局長
- ・北島 鎮夫：校長補佐兼自動車整備学科 学科長
- ・鈴木雄一郎：1級整備学科 学科長
- ・山野辺雅之：教務委員長

4. 学校関係者評価委員の意見・提案と評価平均点 (令和6年度 学校関係者評価)

基準1 教育理念 3.7 (前回 4.0←4.0←3.8)

- ・課題自体が変化し、対応が必要とされる時代と思います。正しい情報を収集し対応してほしい。
- ・学生の力だけでなく、教員の教育力・人間力の向上にも重きを置いていることが良い。

基準2 学校運営 3.7 (前回 3.8←4.0←3.5)

- ・入学者が多くなっており、安心致しました。留学生の増加は時代の変化の表れと考え時代に合った学校運営をしていただきたい。
- ・日本人と留学生が共に学べる運営体制がよい。

基準3 教育活動 3.5 (前回 3.8←3.8←3.5)

- ・輸入車業界、特にラグジュアリーブランドではサポートし難い領域と考えます。国産車やマスブランド輸入車の企業からの活きた情報収集をしてほしい。
- ・今後の試験制度変更やビジネスマナーなど先を見越した動きができていますと感じます。ビジネスマナーは企業の要望だと思いますが、多様な人間性の育成にもつながるボランティアなどの地域活動との連携も加味するとより良い教育活動に繋がれると思います。
- ・車に関わる広い範囲を教えてほしい。例えばポルシェが行っているアナリストやロードサービス (JAF) など視野を広げて教育活動の中に取り入れてほしい。

基準4 学修成果 3.5 (前回 3.5←3.5←3.5)

- ・日本語のコミュニケーションと言う点では留学生クラスをサポートが課題になると思います。
- ・合格率や退学率など課題をきちんと捉えられている。施策は学生個人のやる気に依存する部分もあるかと思いますが、早期対策の実施に期待します。

基準5 学生支援 3.2 (前回 3.5←3.5←3.5)

- ・Ferrari Tech Talent Program という若い世代のメカニックへの窓口を開く活動や Cornes Motors 招待の専門学生に Ferrari Challenge Japan レースを見学してもらうなどの活動をしております。若い年齢層にアプールする活動&サポートを本年から開始しており、母校に沿う形で協力したい。
- ・学校案内書がロードマップとして流れが書かれており分かりやすい。卒業生への支援体制というのが具体化されるとより良いと感じました。
- ・就職後のフォローや悩み相談など不安を少しでも取り除いてあげてもいいと思う。

基準 6 教育環境 4.0 (前回 3.8←4.0←3.8)

- ・ 21 世紀に向けては PC スキルが求められてきたと思いますが、今後は生成 AI を使いこなすスキルも求められる時代になると思います。
- ・ コンベ車、電動車含め教材として用意されており、幅広い知識を付けるための体制が整っていると感じました。
- ・ 夏涼しく冬温かい最高の環境です。

基準 7 学生の受け入れ募集 4.0 (前回 3.8←3.5←3.0)

- ・ 上記 5 での Ferrari Tech Talent Program では 800 名くらいの応募がありました。殆どが SNS (Meta: インスタ) をフックとした応募でした。Google は壊滅的な数字しか応募がなかった。外注でも良いので SNS の投稿や OC をアピールするような投稿は必要と思います。
- ・ 自動車業界として、人材不足が顕著になっていくと思います。日本人学生の入学支援として、学校全体でのフォローが必要と思いました。
- ・ SNS 等を克活用し、若い子たちが興味を示す内容を配信してみてもいいかと思います。(サーキット走行、授業内容や卒業研究の配信など)

基準 8 財務 3.7 (前回 4.0←4.0←3.5)

- ・ 入学者数の安定は学校経営の要と思います。読売新聞や読売ジャイアンツと言うブランドを利用して、SNS などを利用して若い年齢層に「学校」をアピールする事等をお願い致します。
- ・ 入学人数が増えてきており安定している。貸し教室は、立地を生かして TOEIC など定期的な開催があるものと連携できると良いと感じました。

基準 9 法令等の遵守 4.0 (前回 4.0←4.0←3.8)

- ・ 特になし。

基準 10 社会貢献・地域貢献 3.2 (前回 3.5←3.5←3.3)

- ・ Ferrari Japan、Cornes Motors 等の関連企業ともサポートできる事を検討致します。
- ・ 文化祭などの開催案内は亀戸二丁目町会の HP への掲載で協力できると思いますので、イベント情報など頂ければ協力します。また、ボランティア活動に興味のある学生がいれば、夏まつりなど町会側で面倒を見ることもできるかと思います。
- ・ 清掃活動や駅前での何かの募金活動をさせるのもよい経験となると思います。

基準 11 国際交流 4.0（前回 4.0←4.0←3.8）

- ・留学生の多さや多国籍の学生が国際交流とは異なると思います。異文化を理解する事や有志での海外研修旅行などが必要かと思います。同業他校がイタリア研修旅行をされると伺いました。今の状況を活かしつつさらに活用できる環境を整えてほしい。
- ・海外の整備事情を国ごとに話してもらおう。

その他の意見等

- ・学校としての情報発信や、学生の人間力の強化に地域ボランティアを活用されるとよいかと思いました。
- ・3年から5年くらい先輩のOBの方の話（就職先の選び方の交換や成功例、業界の話）が聞けるような機会があれば良いと思います。販売店に入るスタッフもリクルートエージェントなどの紹介は長続きしない傾向があります。社員紹介（友人が先に務めている）ケースが長続きしているようなので、企業研究の手法もさらに充実させてほしい。

まとめ

委員の方々のご意見・ご提案を参考として、今年度及び来年度に向けた学校運営の検討を行う。

以上